中部国際ゴルフクラブのナイター照明†

恒川 宏**

1. 概要

第三次ゴルフブームで、どのゴルフ場も満杯の状況下、昭和58年岐阜県の中部国際ゴルフクラブの全18ホールに夜間照明設備が設置された。

このゴルフ場は、名古屋市内から車で1時間の距離にあり、仕事を終えて夕方から1ラウンドと、ゴルフ好きの人から好評を得ている。

151基の照明柱と、560台のメタルハライドランプを使った投光器で照明しているが、フェアウェイやグリーンが浮き上がり、ゴルフを幻想的な世界に引き込んでいる。

図1に17番ホールの夜間照明状況を示す。

図1 17番ホール

2. 照明設備

照射位置：ティーグラウンドでは右後方から、フェアウェイではグリーンに向かって右側から、グリーンでは左右の手前2箇所から。

取付け高さ：フェアウェイを基準にして平均15m

照明柱：パンザマスト柱（一部コンクリート柱）

光源：経済性および演色性を考慮して、メタルハライドランプ1kW SCタイプ

投光器：ティーグラウンド、グリーンは広角形フェアウェイおよびフォロー用は狭角形を基準にし場所に応じて中角形を使用している。

17番ホールの照明器具明細と、照明柱配置図と初期実測

† Night Illumination of Chubu International Golf Club
* 日日設計 Hiroshi Tsunekawa

紹介者 専門会員 神作 博

表1 17番ホール照明器具明細

	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	合計
狭角形投光器 (M 1000 B/BH-SC)	4	1	5	5	3	0	0	18
中角形 " (M 1000 B/BH-SC)	1	2	0	1	1	1	1	7
広角形 " (MF 1000 B/BH-SC)	1	1	1	1	1	3	3	11
合 計	6	4	6	7	5	4	4	36

図2 17番ホール照明柱配置図・初期実測照度分布図

照度分布図を表1、図2に示す。

電 源：3φ3W 440V

制御監視：電源の制御や、異常監視および照明の各ホールごとの監視制御を、キャディーマスタ室で一括監視制御を行なうために、グラフィック表示の監視盤付きの多重電送システム制御装置を設置している。制御装置を図3に示す。

照 度：ティーグラウンド 100 lx
フェアウェイ 70 lx
グリーン 100 lx } 主要部分の実測値

第1ホールから18ホールの照明器具

(イン)(アウト)

広角形投光器 80台 80台

中角形投光器 40台 50台

狭角形投光器 160台 150台

その他通路灯 (HF 400 W)

20台

所在地

施 主 中部国際ゴルフクラブ

設 計 日日設計

施 工 東海電気工事株式会社

竣 工 昭和58年5月

図3 集中監視制御装置
(多重伝送システム
MECS-L)

(受付1984年10月8日)